

本時のねらい

安心する言葉をかけるタイミングを知り、ペアの状況に合わせて適した言葉がけをすることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・タブレットを使うことにより、動画の中からめあての場面を切り出すことが容易であることや、切り出した場面にセリフを貼り付けるなどの作業も容易であることから、活動の時間を確保できる。

・別のチームの考えを共有する際に場面を写真で確認できるため、言葉や文章よりもイメージしやすく、自分事として向き合いやすくなることをめざす。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイロノート ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の予定を知る。 ○めあてをつかみ見通しをもつ。 ・「先生動画」を見て、言葉がけがあると良いと思うタイミングをみんなで考える。(写真1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●前時に学んだ言葉を想起させ、ロイロノートにまとめたものを電子黒板に写す。 ●「先生動画」として、前時の活動で出た児童の課題を、教員が演じ教材として使用する。 ●タブレット操作の仕方をおさえる。 ●セリフの吹き出し素材を用意しておく。
展開 (28分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアで考える。 ・ペアで児童動画を見て、場面を見つける ・場面をスクリーンショットし、ふわふわ言葉を貼りつける(写真2) ○全体で交流する。 ・ふわふわ言葉をどういった場面で使えるのか確認する ○ロールプレイ(実際に声掛けをするロールプレイ) ○ペアで活動する。 ・考えたタイミングでふわふわ言葉を使う活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●各ペアが考えた場面を電子黒板に映し出し確認する。 ●電子黒板を見本にし、ロールプレイを行う。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえり ・目標が達成できたかのふりかえりをする。 ・友だちの良かったところを書き、ふりかえりの発表をする。(写真3) 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 「先生動画」を視聴している様子



写真2 動画をスクリーンショットで切り出し、場面に合わせて言葉を張り付ける位置や、大きさを修正している様子



写真3 本時のふりかえりをしている様子

児童生徒の反応や変容

- ・自分の得意なことでも頑張ることができ(音声・打ち込み・手書き)、「できる！」と自信をもって活動に参加できた。
- ・児童自身の動画を用いることで、自身を客観視し自分事としてとらえることができた。
- ・端末を使用して学習したことを、ロールプレイで実体験に返すことで、今後の生活の中での活用に意識を持たせることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・動画から場面を切り出し、セリフを張り付けることでタイミングを可視化し、議論することができる。
- ・ロールプレイをする際に、セリフ、場面をテレビに映した状態でできるので、イメージするのが容易になる。

